

この秋、今治市村上海賊ミュージアムでは、 高龍寺に伝わる寺宝を公開する 「高龍寺展」を開催いたします。

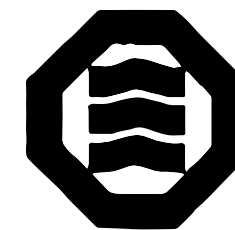
本展では、高龍寺に所蔵される「高龍寺記」や江戸時代の「涅槃図」「十王図」のほか、大正時代に村上義弘が正五位を贈られた際の「贈位記」などを展示する。あわせて、島四国開創者の一人である毛利玄得の家に伝来し、現在は高龍寺が所蔵する島四国関係史料群など、高龍寺に伝わる多様な史料群を紹介する予定です。

- ・企画展名：特別展「高龍寺」(仮)
- ・開催期間：10月10日～12月13日
- ・開催場所：今治市村上海賊ミュージアム



関連講座

- 内 容 ①「高龍寺記」を読む(仮)(今治市村上海賊ミュージアム 学芸員 松花菜摘)
②大島四国関連資料を読む(仮)(今治市村上海賊ミュージアム 学芸員 松花菜摘)
- 日 時 ①令和8年11月28日(土) 10:30～11:30
②令和8年11月29日(日) 10:30～11:30
※両日10:00受付開始 無料
- 場 所 今治市村上海賊ミュージアム 1階講座室
- 定 員 50名程度(予約制)
- 申込先 今治市村上海賊ミュージアム 電話 0897-74-1065



第75号

編集室 〒794-2114
愛媛県今治市吉海町
名2916-2 高龍寺内
TEL 0897-84-2129
FAX 0897-84-4495
Eメール info.koryuji@gmail.com
責任者 鴨井悠真

令和8年11月23日決定 本尊ご開帳 新住職晋山式 山門新築落成

高龍寺 住職 鴨井悠真

今年の11月23日に本尊様の御開帳の法要を厳修させていただきます。

平素より総代世話人様をはじめ多くの檀信徒の皆様には多大な、お力添えをいただき、誠にありがとうございます。

この本尊様の御開帳ですが、33年に1度修法しております。それは観音経にて観音様が33通りに姿を変え、人々を救って回ったからでございます。

そこから西国三十三ヶ所や今回の御開帳のように、観音様にまつわるお話には33という数字がついてくることが多いのです。

また、同じ日に私の晋山式(住職交代の為の法要)を行います。まだまだ若輩者で皆様にはご心配をおかけするかと思いますが、先代も今の私と同じくらいの年齢で晋山式を行いました。そこから33年かけて様々な経験を積み重ね、今の姿があります。

大変恐縮ではございますが、私も住職にふさわしい人間を目指し精進してまいりますので、33年かけるつもりで見守っていただけると幸いです。



11月の法要のご案内は、またあらためて、9月頃に檀信徒の皆様へお送りいたします。

如意輪観音様を祀る永代如意輪堂と 如意輪廟を建立 高龍寺 名誉住職 鴨井智峯

高龍寺の本尊様は千手観音様ですが、観音様には他にも聖観音様、十一面観音様、馬頭観音様など沢山の観音様がおられます。その中で如意輪観音様と呼ばれる観音様がおられます。

如意輪観音様のお姿は一般的には坐像で右膝を立てて腕は6本、表情は想いに耽る様なお姿で表される事が多く、そのお姿を見ていると、どうしたら人々を救うことができるのだろう？ という想いに耽っているようにも見えて、とても魅力的な仏様です。

如意輪観音様のご利益は、名前の如く衆生が願うことを全て叶えてくれるという何とも有難い仏様です。その上、一番大事なことに私たちが住む六道輪廻といわれる世界の人々をはじめ、全ての命を救い上げるという誓願を持たれています。

いつかご縁があれば如意輪観音様をお祀りしたいと思っていましたら、20年ほど前、京都の仏具屋さんでとても美しい如意輪観音様を見つけて、この観音様はお連れ帰らなければならないと思ひまして、長らく高龍寺本堂でお祀りしていました。

この度、本堂東側に永代位牌堂と永代墓を建立するにあたり、本尊様は是非とも如意輪観音様をお祀りしたいと思い、如意輪観音様のお家になる御厨子を新調し、そのお堂の名前を永代如意輪堂と名付けました。

また、新築する永代墓は如意輪廟と名付け、正面に如意輪観音様をレリーフにしてお祀りいたします。この如意輪観音様のお姿を描かれたのは高龍寺の檀家さんの藤田栞さんです。栞さんは小さい時から絵を描くことが大好きだったそうで筑波大学日本画学科に進学されました。丁度その時に高龍寺本堂横に永代墓沙羅の縁を建立することになり、本尊様として涅槃図を栞さんに描いて頂きました。彼女が二十歳の時の作品です。

如意輪観音様を本尊様と祀る永代墓を建立するにあたり、再度、栞さんをお願いして本堂に祀っている如意輪観音様のお姿を見ていただき、描いていただきました。

永代如意輪堂はお盆前に、永代墓如意輪廟は秋に完成予定で工事を進めています。同時に山門新築工事も進めていまして、工事担当は高龍寺客殿の改修工事をお願いした宮大工さんで、着工を5年待ち、高龍寺本尊千手観音様のご開帳に合わせて落慶の運びとなっています。

落慶の折には是非とも御参拝下さい。



厨子が新調されて永代如意輪堂の本尊様としてお祀り致します



如意輪観音様を描かれた藤田栞様とご家族



宮大工さんの工房で山門に使用の材料を見ながら確認



本堂東側にあった桧は木目が綺麗なので製材し山門の部材として生まれ変わります